

2022年度 保育士・給食室・事務室・パート職員の自己評価

保育園評価と集計結果

2022年度は全職員の自己評価を集計しました。主に、文章での評価をして頂いたが、ど評価も自分の思いを出していただいている、職員全員で交流するにふさわしい自己評価となったので、今年度は全職員分を感謝の気持ちを込めて、記録しておきたいと思います。

保育園評価

1 保育理念について

- ・自分の保育を見直し、謙虚な気持ちで、保育に向かう。
- ・子どもの人権を大切にしているか、子どもに寄り添い、子どもたちが自分の思いが出せる環境を整えることができているか、話し合いをしていこう。
- ・保護者と、子どもを真ん中にして、笑顔いっぱいの保育園にしていこう。
- ・地域との交流を工夫していきたい。

2 保育方針について

- ・楽しい！嬉しい！またしたい！遊びをしていこう。
- ・仲間とのつながりができるようにしていこう。
- ・相手を思いやる気持ちを大切にしていこう。

3 保育目標について

- ・無理強いせず、待ったり、見守ったり、気持ちを切り替える雰囲気工夫したり、先ずは、保育者が笑顔で子どもたちを受け入れよう。
- ・保育者一人一人の頑張りを認め合おう。

2022年度 保育士の自己評価（正規職員・パート・事務・給食） 集計結果

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

1. 保育理念について

① 保育の仕事をする中で一番大切にしていることを教えてください。

【具体的な取り組み方法】

- ・子どもの気持ち、意見をしっかりと聞いてその思いを尊重させること、同じ目線を大切にしている。
- ・安心安全な保育。・笑顔で平等に。・一緒に組む保育者とコミュニケーションをとり協力し合う。
- ・話を聞いたり、求められることに対して受け止め、存在を認める事。
- ・子どもたちの笑顔。楽しいことを考え楽しいことを共有している。
- ・子どもたちのやりたいことしたいことを大切にする。

- ・子どもたちが楽しいと思えることを毎日やりたい。また、保護者とのコミュニケーションを大切に、一緒に子どものことを考えていきたい。
- ・子どもたちと同じ目線に立って気持ちを考えたり共感したりしながら関わり、安心感を持って信頼関係を築いていけるようにすること。
- ・子どもの気持ちに寄り添ったり、子どもたちが楽しい話をしている時に、一緒に共感したりする、また子どもたちがやりたい遊びに入って一緒に楽しんだりする。
- ・なるべく子ども一人ひとりの主体性、自主性を尊重した保育を行うよう心掛けている。但しできていないことも多いと思う。
- ・子どもたちが楽しく、保護者が安心して預けられるようにコミュニケーションを取りながら保育にメリハリもありつつ子どもたちを尊重し寄り添うことを大切にしている。
- ・その子の気持ちを受け止めつつ保育にあたる。・子どもが安全安心して過ごせること。
- ・笑顔で接すること。・信頼関係を作る事、安心できる存在になることを意識。
- ・一人ひとりの子どもを大切に考えけがをさせないように見守る。・子ども一人一人に気持ちを尊重する。
- ・間違いがないこと。

A…13% B…43% C…35% D…0% 未回答…9%

② 一人ひとりの子どもを大切に、保護者・職員も大切にされる保育園を目指す為にどんな取り組みをしていますか。

【具体的な取り組み方法】

- ・コミュニケーションを密にとって理解しながら。・子どもたちの気持ちを大切にする。
- ・朝の時間など各クラスの子どもたちと話をするようにしています。職員にも。
- ・子どもの様子や保護者の様子を見て声掛けなどしながら意見を言いやすい保育園を目指している。
- ・子どもの成長を見守り笑顔がたくさん見られるように心がける。
- ・子どもの様子を降園時に伝えたり、保護者の話（些細な話、相談）を聴いてコミュニケーションを取るようにしている。
- ・学習会での客観的に見る・考える機会、話し合ったり、意見交換。
- ・一人ひとりの子どもとしっかりと関わりその子にあった保育を考えて行っていくように努力している。また保護者や職員にはお礼や感謝の気持ちをつたえるようにしている。
- ・昨年はクラスの中で気持ちが収まらない子もいた。その際に他のクラス、先生へも切り替えができるよう見ていただくことをお願いしたことがあった。皆で、困った時は助け合える関係を目指していきたいです。
- ・登園降園の際には保護者、職員に挨拶をし、保護者の方には子どもたちの一日の様子を伝えたり、できたことを伝えたりする。
- ・一人の人間（人）として尊重しあえるように柔軟な心を持てるように接する。
- ・保護者に子どもの様子を聞き取り、その子が安心して過ごせる環境を作っている。
- ・保護者の考え方に寄り添い可能な限り行う。・思いやりを持って接すること。
- ・子どもたちの発達に合わせて丁寧にさりげなくサポートすること。
- ・一人の子供に集中して、その子だけしか見えないんじゃない、わけへだてなく接する。
- ・職員間（特に担任）での連携を図る。
- ・お互いを思いながら意見や話を聞くようにしている。・一人ひとりの個性を理解する事。

A…9% B…26% C…52% D…4% 未回答…9%

③ 地域に愛される保育園になるためにどんな取り組みをしていますか。

【具体的な取り組み方法】

- ・コロナ感染症の為に交流ができなかったが挨拶は行っている。
- ・これから考えていきたい（コロナが落ち着いてきたので）。

- ・地域の方と会った時は挨拶をしたり、声をかけられたときはしっかり対応したりするようにしている。
- ・散歩中や園庭で遊んでいる時にも地域の方々に会い、挨拶を交わしたり、会話をしたりし、かわいくて見守ったり、子供との会話を喜んでいられるのを感じています。今後も子供たちと積極的に挨拶をしていく。
- ・保育園周辺又は近所の家の方にはこちらから挨拶を行って声をかけています。
- ・お散歩に行くときにすれ違った方に笑顔で挨拶をしたりお話をされたときに少し会話をしたりする。
- ・挨拶は笑顔です。
- ・近所の方や散歩で歩いている方に会ったら挨拶をしている。時々話しかけたりするので、会話したりお礼を言ったりしている。
- ・お散歩のときや園外に出た時に地域の方にあったら挨拶をする。・挨拶をする、感謝をする。
- ・園外散歩の時には地域の方とあいさつを交わす。・挨拶。
- ・地域の方に会った時は率先して挨拶をし、草むしりをしたりして美化に努めている。
- ・大きい声であいさつ!!笑顔!!困っている人飼い犬をフォロー。

A…22% B…43% C…17% D…9% 未回答…9%

2. 保育方針について

- ④ 一人ひとりの子どもを大切に、保護者・職員も大切にされる保育園を目指す為にどんな取り組みをしていますか。

【具体的な取り組み方法】

- ・子どもたちの朝の様子、変化に気づけるようにしている。
- ・些細なことにでも気づけるよう顔を見て挨拶をしています。・子どもの様子をよく見ておく。
- ・沢山遊び、触れ合い、給食を食べたりクッキングを行ったりした後は午睡などで体を休めるようにしている。・一人ひとりの成長に合わせて十分な遊びを保障する。
- ・よく食べ、よく遊び、よく眠れるように、食事の面では食育、開放的に遊べる環境設定、安心して眠れる環境づくり。・話をよく聞いて楽しい気持ちで過ごせるようにする。
- ・日頃から遊んでいる様子や食事をしている様子などを観察して変わりがないか見るようにしている。また保護者からの情報も大切に保育を行うようにしている。
- ・毎日楽しみをもって登園したり過ごしたりできるようわくわく出来る活動やお話を考えていく。子供たちがしたいやってみたい気持ちへ繋げていく。
- ・外で元気に保育者と遊んだりして、食事では苦手なものがあるときでも無理には食べさせず、一口だけでも食べられるように小さく切って好きなものと一緒に混ぜて食べられるようにする。
- ・子供たちの話を聞く、一緒に考える、時には見守りなどを意識して保育をするように努力した。
- ・お外や室内で体をよく動かし遊んで生活リズムをよくして過ごす。
- ・旬のものを取り入れ献立に生かします。完食よりは、楽しく食べることを目標にしています。
- ・子どもの様子に気を配る。・よく遊び、よく食べ、よく眠るという生活リズムを作ること。
- ・行動を全体として受け止めることができないよう前後の表現とのかかわりをみて判断できるようにという思いで過ごした。・どの子の前でも明るく笑顔で接する。
- ・沢山の子どもと会話をしたり、ふれあいコミュニケーションを積極的に図る。
- ・園でかかわる職員として、子供、状況をよく見て、子どもの健康で生き生きとした育ちのために考え行動する。

A…9% B…39% C…39% D…9% 未回答…4%

- ⑤ 保護者が安心して預けられる保育園になるように気を付けていることはどんなことですか。

【具体的な取り組み方法】

- ・子どもたちが笑顔で楽しく園に来られるようにする。
- ・登降園時に挨拶や少しの会話で気づけるように注意し、安全面など気を付けている。

- ・子供のちょっとした変化や出来た事困ったことなどよく伝える。
- ・登園した時から一日けがや事故にあわず降園を笑顔で迎えらるることに気を付けている。
- ・保育園に通えるように。
- ・安心して遊べるように危険な個所などを点検する。
- ・園での様子をできるだけ詳しく連絡ノートや口頭で伝えたり、気になることがあるときは丁寧に伝えたりするようにしている。
- ・連絡ノートや送迎時に園での様子を伝えたり、おうちでの様子を聞いたり、お家で困っていらっしやることもあるので一緒に考えていく。お便りでも様子が伝わりやすいように書いていく。
- ・笑顔で挨拶をしたり子どもたちに「おはよう!」「ばいばい!」など伝えたり迎えに見えた時には子どもたちの呼び方に気を付けたい。
- ・子どもたちが笑顔で楽しく園に来られるようにする。すると保護者も安心してあずけられるようになるのではないかと思います。
- ・ノートに書く内容だけでなく口頭でも子どもの様子や保護者とのコミュニケーションもとるようにした。
- ・保護者や子どもたちとコミュニケーションを十分に信頼関係を築く。
- ・ゆっくりお迎えに来られているのを確認してから食事に関するエピソードを伝えました。保育園でしか見られない話を聞かれ、安心される様子が伺えた。
- ・預かるときに安心してもらえるようにしっかり受け止める。
- ・けがや事故がないように配慮する。
- ・子どもの成長や体調変化に気を配る。
- ・一個人として、あいさつと笑顔。
- ・保護者の送り迎えの時に明るく声掛け「おかえりなさい」「お疲れ様です」など。
- ・小さな怪我でも保護者に伝わるように連絡ノートや口頭で伝える(担任に伝えてもらう)。
- ・挨拶、声掛け。
- ・保護者に会った時は挨拶をし、エピソードがあればお話しするよう心掛けています。
- ・保護者のおかれた状況、心情の理解に努め寄り添う。

A…4% B…61% C…22% D…9% 未回答…4%

⑥ 子どもの24時間の生活を保護者と力を合わせている取り組みを教えてください。

【具体的な取り組み方法】

- ・コミュニケーションを多く持ち、保護者が話しやすい雰囲気大切にしている。
- ・クラス担任などから情報を聞くなどして子供や保護者の様子を見るようにしている。
- ・クラスライン、連絡帳、クラスだよりなどでの様子や登降園時に話を聞いたりしている。
- ・会話を大切にする。
- ・様子を聞く。
- ・園生活や連絡ノートなどで気になることがある時は、保護者から話を聞いたり自宅での様子を聞いたりするようにしている。
- ・ノートに毎日の給食の様子、睡眠、排便を伝えていき、お互いに生活を把握しあう。
- ・子どもたちの食事面だったり睡眠時間を連絡ノートを見たりして、保育園での様子を伝えたり、食事面では食べたものや苦手だったものを保護者の方に伝える。
- ・あまり調子が良くないときは一緒に様子(家と園)を見たり早寝早起きができるように協力してもらったりした。
- ・連絡ノートや口頭でおうちでの様子や園での様子を伝え合う。
- ・連絡ノートでのやり取り。
- ・連絡帳や送迎の時の会話で普段と変わった様子はないかなど確認する。
- ・毎日の連絡ノートの生活の記入欄をチェックする。
- ・ノートを読んだりして各家庭の食事内容などを確認している。
- ・子どもが家庭で過ごす時間と園で過ごす時間その切り替えで大きなストレスが生じているケースがあり家庭と園との連携が必要ということですね。

A…0% B…52% C…31% D…4% 未回答…13%

⑦ 職員集団、保護者、共に人間を大切にす為に大切にしていることを書いてください。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・職員間では相手の嫌がることは言わないようにした。また保護者とは目線を合わせたり相手の話もよく聞いたりするようにした。・受け止めること！・笑顔で接する。・挨拶をする。
- ・なるべく会話を多く持つ様にしている。苦手意識を持たないように。
- ・色々な事を話せたり、困っていることがある時にはみんなで助け合っていく、又考えていく関係が作れるよう信頼関係を築いていくこと。・相談された時には聞いたり、対応する。
- ・報告連絡相談などや、コミュニケーションを大切にしている。
- ・自分の考えも言いつつ、相手の意見や話を聞いたり一緒に考えたりコミュニケーションを取る。
- ・コミュニケーションをしつかり取る。・お互いを思いやること。・押し付けない、寄り添う。
- ・会議やミーティングで決まったことはみんなで守り、共有すること。・個人的な感情私情は持たない。
- ・挨拶、報告、連絡、相談などのコミュニケーションをとる。・あいさつ。
- ・自ら声をかけに行き、コミュニケーションを図る。・自分本位な言い方をしないこと。
- ・子どもを大切にするように大人も大切にされなくてはいけないと思っています。子どもにしないような事は大人にもしてはいけない。否定など。

A…9% B…35% C…43% D…4% 未回答…9%

⑧ 多くの人と力を合わせるためにしていることはどんなことですか。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・コミュニケーションを多く持ち仲良くする。・話を聞いたり報告したり進めたりしながらまとめていく。
- ・声かけをすること。・笑顔で接する。・声かけ
- ・複数担任の場合はお互い話し合いを持つようにする
- ・自分にできることはできるだけ行うようにした。また行うときはいろんな人からのアドバイスをもらうようにした。
- ・クラスの中、又他のクラス、職員と情報を共有しあえるように伝え合っていく。又相談や情報にも気を付けていく。・多くの方と交流できるようにする。・積極的に声をかけ共有する。
- ・よく相手の話を聞く。・会議やミーティングで意見を出し合う。
- ・一個人、立場として自分にできることを努めようという思いで行動したと思う。
- ・子どもの姿や家での姿など、話を聞けるときは他の保育士から話を聞く。
- ・不明な点があれば一人ひとりに質問して回る。・話を聞く、協力を求める。
- ・コミュニケーションをとる。
- ・大きな声であいさつ。出来ることは引き受ける（もっとわかるようになればいろいろできるかも）。自分に何が出来るか考えたいと思います。

A…9% B…35% C…39% D…13% 未回答…4%

3. 保育目標

⑨ 豊かな自然の中で、“生き生き”“柔軟な心と体”を作るために努力していることを教えてください。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・子どもがやりたいことを思うままに行け入れ一緒に楽しむこと。
- ・自然に多く触れてほしい反面、それだけの保育にならないように声掛けしていきたい。
- ・伸び伸びと十分に身体を動かして遊び、体幹がしっかり育ち、意欲的に興味関心を持って遊びこめる

- ・ ようにする、保育者も一緒にトラブルがあった時など「痛いね」など言葉や表情で伝えていく
- ・ 友だちや保育者と公園で遊びながら子どもたちが自分たちでルールを作り一緒に遊ぶ
- ・ 川でエビを取り飼育している。
- ・ 砂、泥、水でよく遊び、気持ちよい遊びをたくさんすること。
- ・ 子どもたちと一緒に会話、一緒に遊ぶ。
- ・ なるべく外に出て自然と触れ合う
- ・ 子どもたちがやりたいことを沢山やれるように様々な事を子どもたちの様子におうじて経験できるようにした。
- ・ 豊かな環境の中で思い切り気持ちを開放して遊んでいき、子どもたち保育者みんなで楽しいね、又けんかもあつたりしながらいろんな気持ちを味わっていくこと。
- ・ リズムの時間じゃない時でも活動に入る前に少し体を動かしたり、帰る前にも少しリズムをしたりする。
- ・ 一緒に楽しみながら共に遊び、考える、喜び、褒めたり抱きしめたりする。
- ・ 園庭やお散歩へ出て四季を感じながら体を十分に動かすよう心がける。
- ・ 人の意見、話はきちんと聞きます。
- ・ 否定的な考えは持たないようにします。
- ・ お散歩の時は自然（草花、虫、風、水）などに触れ合いながら歩く。お友だち同士きれいねーとか共感しながら歩く。
- ・ 土、光、水などの自然にたくさん触れて、五感を刺激する保育をする。
- ・ 花や虫などの会話には感動の言葉、行動に対しては褒める一緒に喜ぶなど心掛けた。
- ・ 花や草などに目を向けさせる。声掛けして築山など小さい子を登らせるのが怖いが出さずに見守る。
- ・ 園内外で生き物に触れ合ったり、子どもたちの言動を一度受け止めるように心がける。
- ・ 季節の花を持ってきたり、虫や草花があると子どもたちに教え四季を感じられるようにしている。
- ・ 自然に触れる関わる機会を持つ経験をすること、伸び伸びと体を動かすこと、心と体を開放すること、信頼関係の中で「譲られて存在する」ことの実感。

A…0% B…43% C…40% D…4% 未回答…13%

⑩ 子どもたちが、人の気持ちがわかり、自分の気持ちも表せるように努力していることはどんなことですか。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・ 気持ちを聞く時間をたっぷり持ちしっかりと伝え聞くこと。
- ・ 声をかけて話しかける。
- ・ 遊びや絵本や子どもたちの話を聞く中で、気持ちを表せるようにしている。
- ・ お互いの気持ちを代弁していくことの繰り返し。時々ぐっとこらえて見守ること。怖い雰囲気を出さないようにする！
- ・ 子ども達との会話を大切に気持ちに寄り添う。
- ・ まずは子どもたちの話をしっかりと聞くようにした。また気持ちをよく聞いた上で、どうしたいか、どうしたら良いのかなどを一緒に考えていくようにした。
- ・ 言いたいことを安心して言えるように寄り添って聞いたり、相手へ伝えることが難しい時には代弁してその気持ちを伝え、相手の気持ちに気づけるようにする。
- ・ お友達同士で遊ぶ時に、もめ事があったときは、まず相手の話を聞いて、そのあとにもう一人の子ども話を聞いたりして、お互いが言いやすいように代弁しながら見守る。
- ・ 発見や気づきの中で自己表現が出来ていけたらよいなと思います。
- ・ なるべく子どもたちに寄り添いながら、言いたいことを我慢せずに言って良いんだよと伝えたり、難しいときには仲立ちしたりした。
- ・ お互いの気持ちを仲立ちし伝え合えるように努力している。・子どもの話を十分に聞く。
- ・ 要求はとりあえず控える。・子どもの話を聞いて一旦受け止め、人の話も聞くように促す。
- ・ ありのままの姿を受け止め、まず自分を出せる安心した環境を作る。子どもの思いを聞く。
- ・ 話してくれた事がもう少し広がるように質問を試みたり、楽しい会話ができるようにした。
- ・ 人が使っているものを取ったり、押したり、たたいたりの場面があると子どもなりに言い分があるけれど、できるだけ、お互いの子どもに不満が残らない様に声掛けをする。
- ・ 言葉で表現できることが苦手な子であれば代弁をしたり、ゆっくりと発言できるような環境を作る。

- ・喧嘩したりしていたらお互いどう思っているか気持ちを出せるようにする。楽しそうにしている時も共感できるようにしていく。共感できるような声掛けをする。
- ・自分の気持ちが理解されること、自分が受け入れられるという安心感を持てる必要があります。

A…9% B…26% C…48% D…4% 未回答…13%

⑪ 仲間の中で同じ気持ちになるように保育の中でどのように工夫していますか（栄養士・事務の立場からも）。

【具体的な取り組み方法】

- ・なんでも「みんなで！」を合言葉に気持ちと同じ方向へ向けるように思いを込めて伝えている。
- ・自分の思いを伝えたり、相談しながら保育する。
- ・一人の意見だけでなく、グループや皆で話し合う場を大切にしながらも、無理なときは声をかけるようにしている。
- ・これから保育ミーティングなどで、保育について、共有できるものを話し合いたいです!!林檎の木では、こういう保育をしていこう!!と。
- ・集団遊びなどを楽しんでする。
- ・一つのことに取り組むときは、関連する絵本を読んだり、数人でまずやってみたり、似たことをやってみたりなど、自分からやりたいと思えるようにして、結果として仲間とやっていく楽しさが感じられるようにした。
- ・自分を出して、又友達を知りながら、一緒に遊びや関わりの楽しさ、又他の色々な気持ちを感じ合って行けるように、気持ちを声に出したり、伝え合う場を作っていく。
- ・職員会議の時などに、行事のことでしたいことを伝えたり、わかりやすく伝えたりして、絵などを描いてよりわかりやすくしたりする。
- ・自分の思いをしっかり伝えるようにする。
- ・みんなで共に持つ達成感を作ってあげることによって友達（仲間）を気遣っていけるようになるのかなと思っています。
- ・友だちがどう思っているかな？と声をかけて話すと時間を増やしたり一緒に考えたりした。
- ・コミュニケーションを取ったり、報連相を心掛けている。
- ・困ったり、不安そうにしている仲間に気づいたら、声をかけて、可能であれば話を聞いていました。
- ・感じ方は人それぞれ違うけれど、各々の気持ちを言葉を介して共感していく。
- ・しっかり遊ぶ中で、身の回りの人や物に関心を持てるような声掛けをする。
- ・わからないことはたずねたり、仲間の人から話を聞いたりして、共有するようになっている。一つのおもちゃを一緒に保育士と遊んだり、絵本を読んだり。
- ・一人の意見だけではなく、みんなの意見も聞くことができるような環境を作る。
- ・「同じ気持ちになる」というのが？連帯とか一体感とか気持ちを共有することですか？

A…9% B…22% C…52% D…4% 未回答…13%

⑫ 達成感をもって、意欲を育てる為にどんな工夫をされていますか。

【具体的な取り組み方法】

- ・些細な事でも全力で褒め、出来た時はそれ以上に褒めるようにしている。
- ・小さな目標を立てる（今週は褒めるなど）。
- ・出来たことに対して褒める言葉をかける。
- ・鉄棒、上り棒などやりたい事があると、失敗しても挑戦し、声掛けをしながら次もチャレンジしていこうと思うように一人一人に配慮した。
- ・子どもたちの気持ちを大切にします。
- ・その子どもたちの、少し難しいことや、挑戦したくなるものを用意する。声掛けを明るくする。
- ・「頑張って！」と伝えるよりも、“できているよ”“それでいいんだよ”など今の状況を褒めるようにして子どもたち自身が「やりたい」と思えるようにした。
- ・クラス担任からの相談がないので正直わかりません。
- ・しよう！したい！の気持ちがある時、できることは実行していき、又手伝ったり褒めたりしながらやる気をそがないようにしていく。

- ・一人ひとりの子どもたちの成長や発達に合わせて目標を立て、できたことをたくさん褒めて、達成感を感じさせたりする。
- ・子どもたちだけでなく一緒にやってみたり喜んだり次はどうしたらいいか一緒に考えたりした。
- ・その子が無理せず成し遂げられる分を相談しながら準備をし、挑戦する。
- ・無理なく個人のペースに合わせて、良い所をたくさん見つけて褒めて認める。
- ・ちょっと手助けしたらできることに挑戦してみる。出来たら一緒に喜ぶ。
- ・小さなことでも「できた」が経験できるようにする。難しいことにも挑戦してみるようにする。
- ・褒めるなどで、できた喜びを共有。
- ・積み木やブロックなど集中して遊んでいる時は見守り、出来上がった時など褒めてやる。
- ・一つ一つの行動や発言など良いなと感じたことは言葉に出して褒めるよう心掛けた。
- ・無理のない目標で（給食だったら嫌いなものでも食べられたら褒める）。
- ・やりたいと思ったことをとことんやりこめるようにサポートする。

A…9% B…43% C…30% D…9% 未回答…9%

- ⑬ 人の気持ちが分かることで、～したいけど～しよう、とコントロールする力が出来てきて自分の行動は自立心を持って自分で決められるようにするための工夫はどんなことをしていますか。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・話し合いでも主で話すのは子どもたちに託し、ぶつかった時はみんな考え、一緒にこうしたらいいよね、こんなこともできるね、と考える時間を大切にする。また子どもの発言を否定せず、自分の思いを自信を持って言えるような対応を心掛ける。
- ・人の意見を聞き、考え、自分の思いと違ったとしてもひとまずやってみて、感じる。
- ・自分の思いを伝えようとする身振りや表情をしっかり受け止め、共感しながら相手の思いも伝えていく。
- ・皆で一つの遊びを行いたい時に子どもたちが発信を行い、一人ひとりに聞いて遊んでいるが、中には友だちの遊んでいる様子を見て、途中から遊びに参加する友だちもいる。その時もスムーズに入れるような声掛けを行っている。それでも入りづらいようだったら保育者が手をかけ、入りやすいような環境を作っている。
- ・自分の気持ちや言葉を話せる機会をたくさん作り、くり返し友達同士の気持ちを聞いたりしていくこと。
- ・子どもたちがやりたい事を尊重し、できたら褒めることをする。
- ・何をやりたいか、どのようにするかなどを子どもたちと決めたり、子どもたち同士で話し合いをする機会をあえて多く作ったりして、その中でどのように決めていけばいいのかや、「自分は～したいけど～してもいいかも」と相手の気持ちも聞けるようにした。
- ・保育者が主導して指示して、子どもたちの気持ちや行動を制限や否定をしない。子どもたちの気持ちに任せて、安心して自信を持って行動ができるようにする。又迷ったり、考えたりわからないときには一緒に考えていく。
- ・お互いの話を聞き、したいことが違う時には、時間を決めたりして遊ぶようにする。また意見がバラバラな時にはお友達の話聞くようにしたりする。
- ・一人ひとりに対するその子への声掛けや援助が必要かなと思います。
- ・決められない子は何個か提案して、どうするかどうしたいのか聞く。子どもたちが納得して次の行動に行けるように待ったりもした。
- ・「〇〇したかったね」と肯定しながらも「〇〇しようか」と誘って、出来たら「すごいね」とほめるなどたくさん声掛けをしている。
- ・子どものぶつかり合いでは話がお互いできるようにしていくが、保育士の考えに導くのではなく、あくまで子どもたち同士で考え、自分たちの納得のいく結論に達するように見守る。先入観を持つと先導してしまいがちなので。
- ・その子の気持ちに寄り添い、思いに耳を傾け、どうしたらできるか、どこまでだったらできるかを一緒に考える。
- ・どのように感じたか、本人や相手の気持ちを聞いたり、私自身の気持ちも時には伝え、どうしたらいいか一緒に考えるようにする。

A…4% B…40% C…35% D…4% 未回答…17%

- ⑭ 達成感をもって、意欲を育てる為にどんな工夫をされていますか。

【 具体的な取り組み方法 】

- ・“頑張れ”や“やればできる”という言葉は使わないようにしている。
- ・子どもたちの気持ちを大切にしている。
- ・色々試行錯誤しているが、他職員との連携が取れていく。
- ・人の役に立つ事は何だろうか、何が出来るだろうかを考え行動しています。
- ・リズムの時の歌は、身振り手振りを交えて、楽しく歌おうと思います。
- ・子どもたち同士の話し合いやトラブルを、一度見守るようにする。
- ・この一年、わからない、経験したことのないことばかりで慌ただしく過ぎてしまいましたが、より保育に関われるようになりたいと思います。

A…9% B…13% C…4% D…4% 未回答…70%

今後取り組むべき課題

日誌の有効活用について

【 具体的な取り組み方法 】

- ・振り返りができる。
- ・児童クラブの活動日誌は、振り返りや子どもの個性の把握のために活用している。
- ・毎週どうだったか静かな時に振り返りをする。
- ・記録をつけることで保育や子どもの成長を確認する。
- ・月案、個人記録を書くための振り返り。
- ・重要なところを記入していき、しっかり記録に残していく。見返したときに背景が浮かぶように活用したい。
- ・日々の保育について振り返りを行い、保育内容に関して良かったことや改善したほうが良い点について考えるようにしている。また過去を見返して、次の保育をどのようにしていくかを考える材料にしている。
- ・子どもたちの日々の活動や様子がわかる様にする。
- ・1ヵ月の保育を考える時に、前の日誌を見て保育を考えたりしていくのがよいと思った。
- ・時々振り返り、次の目標を立てるために活用している。
- ・記入することがないので、つい見落とししてしまう。保育の振り返り、改善になるので目を通すこと。
- ・忙しいとは思いますが、たまに見返す時間があるとクラス全体に成長を感じることができると思いました。4時間勤務内で見られずにすみません。

室内、戸外の遊びの充実のための環境づくりについて

【 具体的な取り組み方法 】

- ・わくわくするような橋があったら楽しいだろうなと思います。
- ・室内は子どもが広く活用できるよう物を置かないようにしている。また屋外の遊具なども点検を多めにするよう心掛けている。他には子どもが遊びを工夫できるよう、遊具は未完成であることも念頭に作っている。
- ・自分の考えだけでなく人の意見も取り入れる。
- ・水や泥にもしっかり触れ感触を楽しんだり、滑り台などの斜面の上り下りを楽しむ。
- ・静、動のバランスを子どもたちを見ながら考え、子どもたちのしたいこともできるように安心で来るところにする。
- ・自分のやりたいことが自分からできるように、子どもたちの見える場所に物を置いたり、様々なこと

が経験できるように準備して楽しくできるようにした。

- ・危険な個所を確認し遊びやすいようにする。
- ・戸外では雨上がりで築山に上って遊ぶ子どもがいるので、滑りやすいから、乾くまで違う遊びをした方がいいのかなって思った。
- ・室内や戸外遊びをする時は、遊具を分散することによってトラブルを避け、楽しく遊べるようにする。
- ・園舎の西と北側が整備されると安心だと思います。
- ・雨の日の室内での体を動かす活動がもっとできないか。
- ・室内の玩具を学期ごとにクラスで交換してみたりする。戸外では砂場以外での砂遊びも楽しそうで、どこまで声をかけるか迷っています。(砂場には誘っていますが)

延長保育・土曜保育の充実

【具体的な取り組み方法】

- ・少数だからこそできる遊びを考えていきたい。
- ・延長保育、土曜保育の際は参加する子どもが少ないので、ゆったりと子どもが自分のペースで過ごせるよう関わりを持つことを心掛けている。
- ・安心安全な環境づくりに取り組む。
- ・夕方も天気の良い日は十分に外遊びを楽しむ。
- ・夕方や土曜日は友達が少ないので不安にならないように話や遊びを行う。
- ・少人数ならではの関わりや、その子とゆっくりと話をしたい。
- ・延長時には寂しくないようにそばに寄り添ったり、声掛けをしたりなど最後まで楽しく過ごさせるようにした。土曜保育はいつもと違う環境になるため、一人ひとりを気にかけて声をかけるようにしている。
- ・楽しく遊べるように子どもたちに寄り添う・
- ・職員の人数が少なくなるため安全の確保を保証していくこと。
- ・子どもの話をゆっくり聞いてあげたいです。
- ・延長保育で他の子供が一人、一人と帰っていくと、不安そうになる子や、寂しそうにしている子には安心できるように接したいと思う。
- ・今年度は土曜保育に参加しておらずわかりません。

仕事の効率化

【具体的な取り組み方法】

- ・実践から、効率よく仕事が進むように時間や書類の整理など、無駄なくこなしたい。手をかける所は十分にし、よりよい仕事をしていきたい。

子どもたちの様子を見る

【具体的な取り組み方法】

- ・新入園児も増え、個性豊かな子どもたちもたくさんいる中で、少しでも自信を持ってもらえる様に、何にでも挑戦できる子に育つように支援していきたい。

エクセル・ワードのスキルアップ

【具体的な取り組み方法】

- ・集計しやすい表を作成したり、計算式を取り入れた書類を作為したりする。